

●復活主日

泉のほとり

今日の詩篇 第九八編

とどろけ、海とそこに満ちるもの

世界とそこに住むものよ



罪の惨めさ

今週は受難週です。主がわたしたちの罪のために十字架で殺されたことを思いながら日々を過ごします。主の死がわたしの罪のためであることが本当にわかったら、わたしたちの生き方は、変わります。

この出来事を引き起こした人たちの第一は、ユダヤ人の指導者たちです。彼らは主イエスを妬みまし。主が自分たちよりも明確な言葉で神さまを教え、出来事を起こして神の国が来ていることを示されたので、指導者としての自分たちの地位が危うくなると思つたのです。それで主を殺そうと思つたのですが、公然とはできないので、夜の間に主を捕らえて、裁判にかけ、死刑にすることを決めました。

それを手助けしたのは、イスカリオテのユダです。彼は主がローマと戦つてくたさると期待しましたが、主が期待通りにされなかつたので、主を裏切つたのです。

弟子たちは、最後まで主に従うつもりでしたが、大勢の人々が主を捕らえた時、恐ろしくなつて逃げてしまいました。

ローマ総督ピラトは、主に罪がないことを知つていましたが、群衆が「十字架につけろ」と叫んだので、自分の地位を守るために、死刑の判決を下してしまいました。

ハイデルベルク信仰問答は、わたしたちが主の慰めの中で生きるために何が必要かと問います。その答えの第一は、自分の罪と悲惨さがどれほど大きいことを知つてのことだ、ということです。

捕らえられた主は、唾をかけられ、棒で叩かれ、

十字架につけられ、侮辱されました。目で見ると、惨めな状況です。でも本当に惨めなのは主ではなく、主を侮辱していた人たちなのです。公然とできないことを、陰でこそこそ行うのは惨めです。期待外れの人をごみのように捨てるのは、惨めです。正しいことを知りながら、力に負けて不正に目をつぶるのは惨めです。そしてわたしたちもまた、その惨めさの中で生きています。

アメリカのある小学校でいじめられている男の子がいました。頭から牛乳をかけられたり、教科書を投げ捨てられたり、殴られたり、ひどいことをされていたのですが、そのことを母親に話し、母親はその様子をビデオに撮つてSNSに投稿しました。彼はその中で「間違っているのは僕じゃない。彼らだ。だから僕みたいないじめられている人は勇気を出そう」と言っていました。それを見たミュージシャンのスターがそれに感銘を受け、支持を表明すると、他のスターも次々と彼に支持を表明しました。それを知つて驚いた級友は、とうとう彼に謝つたそうです。自分たちの惨めさが明るみに出てしまつたのです。

わたしたちは、神さまの御心に従うことは難しいと言ひ訳をします。でも御心に従えないことは惨めです。その惨めさを教え、そしてそこから救うために、主は十字架で死なれたのです。

(マタイ二七・三二〜四四)

十字架上のキリストへの祈り

主よ、わたしがあなたを愛するのは
あなたが天国を約束されたからでは
ありません。

ありません。

あなたにそむかないのは

地獄が恐ろしいからではありません

主よ、わたしを引きつけるのは

あなたご自身です

わたしの心を揺り動かすのは

十字架につけられ

侮辱をお受けになったあなたのお姿です

あなたの偏ついたお体です

そうです 主よ あなたの愛が

わたしを揺り動かすのです

ですから たとえ天国がなくても

主よ わたしはあなたを愛します

たとえ地獄がなくても

わたしはあなたを畏れます

あなたが何もくださらずとも

わたしはあなたを愛します

望みが何もかなわなくても

わたしの愛は変わることはありません

平野克己 「祈りのともしび」より

フランシスコ・ザビエルの祈り

今日のお知らせ

○今日はイースターです。礼拝の中で洗礼

式と転入式を行います。

洗礼式

中 谷昌子教友菊池美穂子

川越亮 教友 高知尾有里

川越康徳 教友 山下純一

増田泰子 教友 宮川昌枝

転入会

安 東明楽東元國、趙花環

安東ありす、安東元樹
在日大韓イエス教エデン教会より

○礼拝後、教会学校の子供たちのための
イースターランドを聖堂で行います。

○礼拝後、ロビーではコーヒーサービスが
あります。回舎二階のリズム室では、ぶ
どうの会が開かれ、礼拝で受けた恵みの
分かち合いをします。今日は特別集会で
す。

○一二時からホールで、イースターの祝会
を行います。今日の受洗者・転入会者を
歓迎し、お祝いの食事を一緒にします。
今日のメニューは、チキン・バルサミコ
ソース味、イースターサラダ飾り卵添
え、サフランライス、コーンスープ、果
物です。ご期待ください。

○先月行われた二月教会総会で、菊池美穂子姉
に按手を施し、キリスト品川教会の教師とし
て立てることを承認しました。それに基づ
き、次週四月八日(日)午後二時半から、核
心式礼拝を行います。ゲストとして、桜台教
会の中川寛牧師、日本バプテスタ同盟金沢文
庫キリスト教会の森島恵牧師、西条伝道所の
田端良忠牧師が参加されます。なお当日の第
二礼拝の説教は、田端牧師が担当されます。

四国だより

一月の牧会報告書をつい先日お送りしたような気もいたしますが、まだの様な気もいたします。直なっている場合には誠に申し訳ございません。

新しい年を迎え、主からの御啓示により重要なところに新しい風が流れはじめております。パイブルクラスは求道中の方の為と受洗後の方々の為のものが有りますが、内容においては主の御啓示のようにしております。驚きをもって皆さまが喜んでおられ、生きて現実の日々に御業を現しておられる主を賛えておられます。

賛美の内容も、教会学校の内容も変化しております。校長先生の発案により大人の修養会のように、礼拝とはちがう内容（生活面での細かい出来事への実践編などをみことばを上台として楽しく学んでゆく）、そのの教会学校バージョンで行つてみる事となり、私も期待して賛同いたしました。第一回では「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。全ての事に感謝しなさい。」このみこ

とばを主軸として、丸くなり席について話し合いました。生徒の皆さんも質問したり考えたりしながら、今回はお祈りについてしみじみとした正直なお話が出来て、とても素晴らしいものとなりました（「千草の会」）。毎月一回。校長先生のお話のしめくりはともわかりやすく信仰の炎が生徒さんに熱く伝わっております。大人の求道中の姉妹も毎週喜んで礼拝しておられます。

全てに感謝してご報告申し上げます。

二月五日 出端良恵

聖書の会へどうぞ

●朝の聖書の会（10時）

●聖書の夕べ（19時）

4月18日から始まります。



ミニコンサート

5月17日（木）12時30分

「クラヴィーアと

ヴァイオリンのためのソナタ ト長調」他

ヴァイオリン演奏 山本美樹子

次週礼拝

●第1礼拝（午前9時30分）

讃美歌「いさよこともの 心をひとつに

説教「平和があるように」

聖書ヨハネ20章19節〜23節

説教者 吉村和雄 牧師



●第2礼拝（午前11時10分）

讃美歌149番 II 167番

詩編第98編

説教「命の川の源流には

あのお方がおられます」

聖書1テサロニケ5章23節

説教者 出端良恵牧師



イースター礼拝 (午前10時)

讃美歌 II 131番
180番

説教 「主にお目にかかれる」

聖書 マルコ16章1～8節 (新約P97)

司式 黄允湜 副牧師 兄

説教・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「み神は力の君にませば」 J.W.ケル

○ 讃美歌 II 131番

- いざ歌えたからかに 喜びのほめ歌を
新しき代をつぐる 主のよみがえりを
死の方うちやぶり とこしえに勝ちたもう
もろびとよ喜べや 主のよみがえりを
- いざ歌えたからかに 喜びのほめ歌を
死のほりをくきたる 主のよみがえりを
かぎりなき命をば たからかにつげしめせ
もろびとよ喜べや 主のよみがえりを アーメン

○ サクソフォンによる讃美
「ジョイフル」

○ 聖歌隊による讃美

「ハレルヤ」 G.P.ハデル

ハレルヤ ハレルヤ 全能の神 続べたもう
ハレルヤ ハレルヤ 全能の神 続べたもう
ハレルヤ ハレルヤ
世の国ぐに全て 神とキリストの国となれり
主はとわに すべてもう
主の主 とわに ハレルヤ
主の主 とわに ハレルヤ
主の主 ときわに主は 続べたもう
主の主 主の主に ときわに主は 続べたもう
主の主 主の主に ハレルヤ ハレルヤ

○ 讃美歌 180番(全節)

- はとのごと降る めぐみのみたまよ
こころをやわらげ なくさめたまえや
- まことのひかりを われらにてらして
ひかりのなかをば あゆませたまえや
- ちちなるみかみの みまえをはなれず
つつしみうやまい いのらせたまえや
- いのちのみちなる 主イエスにしたがい
みあとをふみつつ すすませたまえや
- われらをきよめて さかえのみにの
つきせぬめぐみを うけさせたまえや
アーメン

聖餐曲「永遠の至福」 O.メリアン

後奏曲「フィナーレ」 C.M.グロート

× 礼拝には、聖歌、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。